

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		千客万来・アクティブ商店街事業				整理番号	138		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	15850	連絡先電話番号	3074		昨年度整理番号	123	
係名		商工係		上位施策名				No			
予算事業名		商店街総合対策		コード	15850	魅力ある商店街づくり				45	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区千客万来・アクティブ商店街事業補助金交付要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 商店会が提案する意欲的で工夫とアイデアが活かされた商店街活性化のための事業計画が、助成目的に適合するか審査会において審査し、承認する。計画事業の詳細を確認した上で補助金を支出し、計画事業が終了したときには実績報告書の提出を義務付けている。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 商店会が自ら考え、自らの責任において実施する新たな商店街振興事業に対し、必要な助成を行い、个性的で魅力ある商店街づくりが行われることにより、地域経済の活性化を図る。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 申請した事業件数				(1) 申請を希望した延べ商店会数に対する申請率							
(2) 申請を希望した延べ商店会数				(代)事業実施商店会の組織率 (2) (会員数) ÷ (商店数)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		18年度			
指標	活動指標(1)		件	5	4	10	7	10	10	70.0	
	活動指標(2)		件	21	39	15	11	15	15	73.3	
	成果指標(1)		%	24	10	67	64	67	67	95.5	
	成果指標(2)		%	93	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,348	20,260	61,540	44,045	61,048	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	1.50	1.70	1.60	1.88	2.42			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,491	15,290	14,390	16,909	21,765			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	33,839	35,550	75,930	60,954	82,813			
	単位あたりコスト ÷		円	6,767,800	8,887,500	7,593,000	8,707,714	8,281,300			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	33,839	35,550	75,930	60,954	82,813				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	70.0	活動指標(2)の15年度達成率%	73.3	15年度予算執行率%	71.6	5件の計画事業の枠に対し、7件の申請があり、審査の結果、4件を採択した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度は、15年度に引き続き、事業計画のなかで地域雇用を生む事業内容が含まれている場合、その雇用費に対する補助枠として別途1,000万円が予算化されている。 16年度に事業申請予定、また17年度以降に事業を予定している商店会のために、15年度に創設した「商店街アドバイザー派遣」制度を充実させ、本事業の計画策定へ向けての活動を引き続き支援する。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長引く景気低迷を受け、事業開始後も、区内商業活動は引き続き厳しい状況であり、14年度までの3年間で商店数・商店従業者数・年間販売額とも減少している。 区内商店数(か所) 平成11年度 6,343 14年度 5,670 区内商店従業者数(人) 平成11年度 40,724 14年度 37,722 年間販売額(百万円) 平成11年度 1,293,945 14年度 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	1事業1,000万円という事業規模は、大規模商店会でなければ実施が困難な規模である。もっと助成額が低いメニューを設けることにより、中小商店会にとっても申請しやすいものにして欲しい。また、申請するにあたっての事業計画の作成に苦労している。
	今後の予測	大型店や量販店の進出など商業環境の変化に加え、商店会会員の高齢化・後継者不足により、商店会活動を担うべき人材不足が深刻化しており、商店会の地域コミュニティ活動への影響も懸念される。しかし、一方では、地域住民やNPO等とともに本事業を活用し、商店街と地域とを活性化しようとする動きも高まりつつある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店会会員の意識改革を図る契機となっており、商店会が地域に根ざした活性化事業を行うことで、住民に対する商店街の魅力度が高まり、商店街に活力が取り戻されている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区内の商店街が行う活性化事業に対しては、区自らが商業振興の観点から効果的に補助をすべきである。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 15年度の採択事業のなかで、空き店舗を活用したコミュニティスペースの活用などを通じて、商店会がNPOと協力して地域のイメージづくりを行っている。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 商店会が、NPOや地域団体との協働を押し進め、地域のニーズにあった事業を展開することにより、一層の活性化を図ることができる。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 商店会が自ら考え、自由な発想で提案する事業を期待しており、その契機としての補助金であるので、一定の応分負担は定めるべきでない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 補助対象期間経過後の事業継続を視野に入れた上で、コストを最小限に抑えた計画とするよう指導し、また、そうした点を重視して対象計画の採択を行っている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1,000万円規模の事業を遂行できる商店会は限られており、中小商店会に対しても支援を広げるためには、事業規模の設定を見直す必要がある。 「商店街アドバイザー派遣」制度を見直し・拡充するなど、今後も、本事業を目指して計画づくりをすすめる商店会を支援する。 地域NPOとの協働や空き店舗対策といった、「杉並区産業振興計画」で重視する活性化策にも取り組めるよう、指導・助言を行っていく			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 制度の見直し等により、他の商店街活性化施策と目的や対象が重複してくる可能性があるため、本事業に関する改革は、商店街活性化施策全体の改革の動きのなかですすめていく。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 商店街活性化事業の柱として16年度と同様に継続する。なお、本制度をより効果のあるものとするために、「商店街アドバイザー派遣」制度についても内容の充実を検討する必要がある。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		魅力ある商店街づくり助成				整理番号	141		枝番号	1					
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501		連絡先電話番号	3074		昨年度整理番号	126				
係名 商工係				上位施策名				No							
予算事業名		商店街振興総合対策		コード	15850		魅力ある商店街づくり				45				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			63 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			(1) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱											
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業費補助金交付要綱											
	区内商店会など			(3)											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とするための商店会の活動に対し、指導・助成を行う。			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 商店街を単なる買物の場から、地域住民が多様なニーズを満たせる暮らしの場とし、商店街の魅力を高め、集客力の向上を図る。											
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 事業対象商店会数			(1) 総商店会数に対する事業対象商店会数の率												
(2)			(2)												
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績			18年度				
指標	活動指標(1)		件	19		10		11	10		10		15	66.7	
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	13		7		8	7		7		11	63.6	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	87,707		94,569		41,284	4,604		24,061		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30		0.50		0.80	0.94		0.64				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,698		4,497		7,195	8,454		5,756			
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0			
	総事業費 + +		千円	90,405		99,066		48,479	13,058		29,817				
	単位あたりコスト ÷		円	4,758,158		9,906,600		4,407,182	1,305,800		2,981,700				
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	57,885		20,050		22,617	3,168		18,228			
		特定財源計 +		千円	57,885		20,050		22,617	3,168		18,228			
差引:一般財源 -		千円	32,520		79,016		25,862	9,890		11,589					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	90.9		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	11.2					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			当初計画に基づき予算を計上するが、自己負担金不足などを理由に事業を未実施・中止する商店会が増えたこと、イベント事業については、都の制度改革により、元気を出せ商店街を適用したこと、カラー舗装事業については、都市整備部建設課に予算を移した上で執行したこと、により執行状況が低い。 空き店舗対策については、15年度中の空き店舗情報システムを目指したものの、実現に至らなかった。しかし空き店舗対策は、まず情報の整備が重要であるため、今年度も引き続き検討する。「千客万来・アクティブ商店街事業」(評価表138)においても、引き続き空き店舗活用事業の積極的な展開を図る。16年度、商店街空き店舗活用事業費補助制度を創設し、商店会その他、NPO等地域団体も対象として空き店舗の活用を図る、など本事業以外で施策を実施している。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	各商店会ではその魅力を高め、集客力を向上させるため本事業を活用している。しかし、長引く景気の低迷や、大型店や量販店の進出など商業環境の変化を受け、商店会の衰退傾向は否めず、地域コミュニティ活動の低下という影響もでている。区内商店数(か所) 昭和63年 9,585 平成11年 6,343 平成14年 5,670 年間販売額(百万円) 昭和63年 1,044,425 平成11年1,239,945 平成14年 1,218,865
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	少子化・高齢化社会を迎え、地域に密着し地域コミュニティ活動に多大な貢献をしている商店会に対する区民の期待は大きい。
	今後の予測	商店街会員の高齢化・後継者不足、大型店や量販店の進出など商業環境の変化は今後も引き続き、商店街がさらに衰退し、地域コミュニティ活動への影響も大きくなる。商業情勢を先取りする助成施策を実施することにより、商店会の活性化を図り、商店会数の現状維持も目指す。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 商店街会員の意識向上が図られ、商店街の地域コミュニティ機能の維持が図られている。また、住民に対する商店街の魅力度が高まり、商店街に活力が取り戻されている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区内の商店街が行う活性化事業に対しては、区自らが商業振興の観点から効果的な配分を考え、補助をすべきである。
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容: 「千客万来・アクティブ商店街事業」においてはNPO等との協働を行っている事業の事例があり、本事業においても同様にNPOや地域団体等との協働が実現する可能性は高い。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 顧客のニーズにより対応した事業や、多くの会員が参画できる事業を展開することにより、一層の活性化を図ることができる。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 商店街の財務状況が悪化する方向にあるため、受益者負担を増やす方向での見直しは困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 事業遂行にあたっては複数の業者の見積もり競争を義務づけており、事業費は低く抑えられている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 産業振興計画及び実施計画に基づき、商店会が提案する施設整備事業やIT化対応事業を引き続き重視し、積極的に補助・支援を行っていく。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内商店会の多くが、資金力が低下し、また活動が弱まっている。そのため、商店会が確実かつ効果的に事業が実施できるよう、商店会と連絡を密にし、適切な助言を行う。		
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 装飾灯の建設費助成(100灯分)について、16年度までは装飾灯建設助成制度で行ってきたが、補助内容を見直したうえで、魅力ある商店街づくり事業費補助制度で支出できるようにする。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		元気をさせ商店街事業				整理番号	141		枝番号	2			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	515001		連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	121		
係名				商工係		上位施策名				No			
予算事業名		商店街振興総合対策		コード	15850		魅力ある商店街づくり				45		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 東京都元気をさせ商店街事業費補助金交付要綱 (2) 杉並区元気をさせ商店街事業費補助金交付要綱 (3)								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内商店会及び商店会で構成された連合会												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 商店会などが実施するイベント事業に対し、必要な補助を行う。 ・補助対象経費100万円以内の事業 都2/3以内 ・補助対象経費100万円超の事業 2/3以内 都1/3 区1/3 限度額:300万円				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） イベント事業により、商店街の集客力向上を図り、活性化し、魅力ある商店街とする。								
	活動指標名(式) (1) 助成対象商店会数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) イベント開催商店会数 (2)								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画		年度		
指標	活動指標(1)		件	49		52		74	74	80			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件	46		52		74	74	80			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,656		37,085		88,800	62,277	96,088		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10		0.10		0.45	0.53	0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	899		899		4,047	4,767	8,095		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	38,555		37,984		92,847	67,044	104,183			
	単位あたりコスト ÷		円	786,837		730,462		1,254,689	906,000	1,302,288			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	37,656		37,085		53,400	37,976	54,045		
		特定財源計 +		千円	37,656		37,085		53,400	37,976	54,045		
差引:一般財源 -		千円	899		899		39,447	29,068	50,138				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	70.1			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			審査の方法等、都とは連絡を密に取り合っている。また、イベント事業の対象を活性化・魅力につながるものとしていくことについては、引き続き説明会等の中で各商店会に事業の趣旨を理解していただくように努めていく。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	15年度から、1商店会2事業の申請が可能になり、補助限度額も150万円から300万円にアップした。また、都単独補助から、区も補助金を支出することとなった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	申請・報告に関する書類を簡素化してほしい。
	今後の予測	景気が回復しない限り、商店街から行政に望む補助金の依存率は高くなると考える。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: イベント事業は、継続性がないことから、一時的な集客力アップはするものの、商店街全体への経常的影響の検証は難しいものがある。しかし、年々制度の利用実績は伸びていることから、商店街からの需要、期待感は大きいものと考えられる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 行政からの補助金事業のため。
	協働等は実現しているか 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容:
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 補助金を受けた商店街の自主性が大きく成果を左右することとなる。事業終了後に成果の検証・報告等を受けるようにするなど、商店街に対して意識の向上を促進するような方策を検討する。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 補助金であるため。
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 事務手続きの簡素化。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 商店街が事業の目的をはっきり持った上で、活性化さらには魅力ある商店街づくりのためにイベント事業を行うよう、区の方としても引き続き事業の説明をおこない、場合によっては、事業終了後にアンケート調査等をする必要もあると考える。補助金の交付申請と結果報告を、金銭面だけではなく、事業全体の商店街に対する効果の検証についても行っていく必要がある。また、補助金事業が複数あることから、事業の目的にあった補助金を申請し、効率的に事業が進むように努める。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 書類の申請・チェックに要する時間、書類の量が増え、事務量が増加することが考えられ、商店街、区、都ともに事務が煩雑とな
	(1) 17年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 申請件数が増える傾向にあるため。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯への助成				整理番号	145		枝番号					
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	51501		連絡先電話番号	3076		昨年度整理番号	130			
係名				商工係				上位施策名		No				
予算事業名				商店街装飾灯助成				コード		16900				
				魅力ある商店街づくり						45				
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		10		年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理						(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則			
	装飾灯、アーチ等を維持管理している商店会										(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内の商店街に建設された装飾灯の維持管理に関する調査を行うとともに、その助成単価を決定し、商店会からの申請・請求により助成を行う。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		商店会が負担している装飾灯維持経費のうち、装飾灯を維持し道路に必要な照度を保つための費用(交通安全・防犯等の役割分)を適切に補助することにより、活力と賑わいのある商店街としての基盤を強化する。	
活動指標名(式)										成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
(1) 電気料助成商店会数										(1) (代)電気料助成率 (助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)				
(2) 維持管理費助成商店会数										(2) (代)維持管理費助成率 (助成商店会数) ÷ (対象となる商店会数)				
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績		計画	年度			
指標	活動指標(1)		件	125	126	126	125	125						
	活動指標(2)		件	127	128	128	126	126						
	成果指標(1)		%	98	100	100	100	100						
	成果指標(2)		%	98	100	100	100	100						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,694	29,487	30,422	28,995	30,422	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.55	0.55	0.65	0.76	0.55						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,947	4,947	5,846	6,835	4,947						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	34,641	34,434	36,268	35,830	35,369						
	単位あたりコスト ÷		円	277,128	273,286	287,841	286,640	282,952						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0		
差引:一般財源 -		千円	34,641	34,434	36,268	35,830	35,369							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	99.2	活動指標(2)の15年度達成率%	98.4	15年度予算執行率%	95.3	計画どおり、助成予定商店会には、補助金を支出している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成13・14・15年度に、装飾灯に関する詳細な現況調査と個別商店街の事情調査を実施した。また、電気料の助成基準は、電力会社の料金体系等を参考に合理的に策定している。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	修繕費と電気料の助成事務は、平成10年度に土木部道路管理課から経済労働課(現在産業振興課)に移管された。同年から30mに1本の助成だったが、修繕費は全灯を対象とし、道路幅員別に3ランクあった助成基準額を一本に統一した。電気料は、道路幅員3ランクに分かれたままである。 区内装飾灯総本数 H10 4,072本 H15 4,090本
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ポールの塗り替えや移設費用など様々な維持管理費用に対しても助成して欲しい。現在30mに1本、道路幅員3ランク電気料助成は、密に建設された商店会の自己負担率が非常に大きい。商店会の費用持ち出しが多く、商店会本来の活動を圧迫しているため、基準を見直して欲しい。また、アーケード・アーチの照明に対しても助成して欲しい。
	今後の予測	すでにほとんどの商店会は装飾灯を建設済みであり、今後は、年間数件の商店会が老朽化した装飾灯の建替えを行うことが予想される。 商店会数は今後減少していくことが予想される(平成15年度解散商店会数2)。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 商店街装飾灯の維持のために商店会に対して助成することは、商店会の発展に寄与するとともに、安全・安心のまちづくりに貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 装飾灯は、道路を照明することにより、夜間の交通安全、防犯等の役割をも担っている。商店街で装飾灯が立つ部分には区有灯はなく、商店街の装飾灯が、区有灯の代替として道路を照明しているため。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 毎年、対象となる全ての商店会に対して補助金を支給できているため。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区で助成単価を決めており、それ以外の経費は商店会が負担している。財政状況が厳しい商店会に対してさらなる負担を求めることはできない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 商店街振興・交通安全・防犯上、装飾灯は重要であり、助成は適正を図っていることより、区のコストを下げる余地はない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 商店会がより装飾灯を維持しやすいように助成内容の充実を引き続き図っていく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	安全・安心の街づくりの観点から、商店会が装飾灯を維持しやすいように制度の充実を図るが、17年度については、修繕費と美化費が全灯を対象としているのに対し、電気料については30mに1本を対象とするという基準を設けているので、この基準の見直しを検討する。また、電気料・修繕費・美化費ともに助成基準額の見直しの検討を行い、商店会の負担の軽減を図る。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		商店街装飾灯建設助成				整理番号	146		枝番号					
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	51501		連絡先電話番号	3075		昨年度整理番号	131			
係名				商工係		上位施策名				No				
予算事業名				商店街装飾灯助成		コード	16900		魅力ある商店街づくり		45			
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例施行規則							
	区内商店会など				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
区有灯の代替として商店会が設置する築15年以上を経過し老朽化した装飾灯の建替え建設費を助成する。【助成金額: 対象道路30mに1本、1本の限度額335,000円(平成15年度)を助成する。ただし、工事費の2/3を超えるときは、2/3を限度とする。】				道路に必要な照度を維持し、歩行者の安全を確保するとともに、商店街の賑わいを演出する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 装飾灯建設助成基数				(1) 装飾灯総本数に対する助成本数の率										
(2) 装飾灯建設助成対象商店会数				(2) 商店会総数に対する助成対象商店会数の率										
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		18年度	年度					
指標	活動指標(1)		基	107	62	40	11	37	100	11.0				
	活動指標(2)		件	4	5	4	1	4	6	16.7				
	成果指標(1)		%	3	2	1	1	1						
	成果指標(2)		%	3	3	3	1	3						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,104	12,626	13,400	1,733	12,395	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.32	0.35	0.25	0.29	0.36						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,878	3,148	2,249	2,608				3,238		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 ++		千円	32,982	15,774	15,649	4,341	15,633						
	単位あたりコスト ÷		円	308,243	254,419	391,225	394,636	422,514						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0		
差引: 一般財源 -		千円	32,982	15,774	15,649	4,341	15,633							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	27.5	活動指標(2)の15年度達成率%	25.0	15年度予算執行率%	12.9	本制度による助成とともに、東京都の補助金制度(東京都新・元気を出せ! 商店街事業費補助金制度、魅力ある商店街づくり事業費の間接補助金として交付)を併用している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			各商店会に灯具改修の希望の調査を行ったが、希望がなかった。そのため、取り組み状況は未定。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年度に土木部から経済勤労課(現産業振興課)に事務が移管された。平成11年度からは、道路幅員別に3ランクあった助成基準額を1本に統一した。 装飾灯の総本数の推移は、平成10年:4,072、平成15年:4,044本となっている。 商店会数の推移は、平成10年:147、平成15年:145商店会となっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ポールの塗り替え、基礎部分の補修、移設等、現在は助成対象外となっている。そのため、装飾灯に関して大きな金額がかかる事業に対しての助成制度が欲しい。
	今後の予測	厳しい商業環境のなかで、今後は商店会数の減少が予測され、これに対応して装飾灯の本数も減少することが予測される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 街路灯が新しく明るくなることにより、防犯・交通安全ばかりでなく、商店会の活性化にも資する。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区有灯の代替でもある商店街装飾灯に対しては、区自らが商業振興及び安全・安心の観点から効果的及び公平に補助をすべきである。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 装飾灯のデザイン・配置などは、商店会自身が主体的に実施しており、活性化に役立つものとなっている。また、区有灯の代替としての装飾灯という位置付けであるので、これ以上の成果は難しい。
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 不況下により商店会が衰弱し、商店会の財政が悪化してきており、これ以上負担を増大させることは難しい。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 複数の業者による見積もり競争で、建設価格は低く抑えられている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 既存の装飾灯の機能を高め、または耐久性を増すための改修に対する補助制度などを見直し、長期的に区・商店会が装飾灯に費やす費用を減少させることを検討する。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 不況下により商店会が衰弱し、商店会の財政が悪化してきており、装飾灯の建て替えが難しくなっている。そのため、商店会が計画的に助成制度を利用できるよう、商店会と連絡を密にし、適切な指導・助言を行う。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 安全・安心の街づくりの観点から、商店会が装飾灯を維持しやすい制度に変える必要がある。17年度は、現行制度(対象道路30mに1本、1本の限度額335,000円(平成15年度)で、工事費の2/3を超えるときは2/3を限度で助成という計算方法)の見直しを行い、わかりにくい助成金の算出方法や受益者負担の不公平を改善する。具体的には、1本当たり助成限度額を設定したうえで、工事費の2/3を限度とした助成内容に変更する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産業・観光まつり補助				整理番号	148		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051501		連絡先電話番号	3073		昨年度整理番号	133	
係名				商工係				上位施策名		No		
予算事業名				産業・観光まつり助成				コード		魅力ある商店街づくり		
事業開始年度				●昭和 ○平成 47年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 地方自治法第232条の2				
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区観光事業補助金交付要綱				
阿佐谷七夕まつり(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会)				東京高円寺阿波おどり(主催:東京阿波踊り振興協会)				(3)				
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業経費の一部補助(金額:各イベントともに100万円)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)				
観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。												
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 事務経費補助団体数				(1) 観客動員数 阿佐谷七夕まつり								
(2) 助成事業関連商店街数				(2) 観客動員数 東京高円寺阿波おどり								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績	計画		18年度	19年度		
指標	活動指標(1)		団体	2	2	2	2	2	2	2	100.0	
	活動指標(2)		団体	4	4	4	4	4	4	4	100.0	
	成果指標(1)		万人	75	70	70	70	70	80	87.5		
	成果指標(2)		万人	80	100	120	120	120	130	92.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,000	2,000	3,000	3,987	2,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.08	0.15	0.17	0.20	0.16				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	720	1,349	1,529	1,799	1,439				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,720	3,349	4,529	5,786	3,439				
	単位あたりコスト ÷		円	1,360,000	1,674,500	2,264,500	2,893,000	1,719,500				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	2,720	3,349	4,529	5,786	3,439					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	132.9	平成15年度は警察より阿波おどりの安全対策強化を強く要請され、主催団体である東京阿波おどり振興協会に対し、区から安全対策強化費用として987,000円を支出した。また、阿佐谷七夕まつりが50周年を迎えるため、記念事業費の補助として100万円支出した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			阿波おどり振興協会に対し、組織体制を強化し、関係機関との協議調整を行うよう指導した。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	いずれも販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、都を代表するイベントのひとつとなった。七夕まつりについて、飾りつけは一時の華やかさに欠けるが、集客力は引き続き高い。高円寺阿波おどりは観光化し、地元商店街の販売額の伸びには結びついていない。(H5 延60万人 延100万人 H15 延70万人 延120万人)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	七夕まつりについて、衛生面など注意が行き届かない。飾り付けのリサイクルを配慮すべきである。高円寺阿波おどり大会について、ごみ、騒音、交通など、住民の苦情が多い。
	今後の予測	阿波おどり大会の主催者である東京阿波おどり振興協会の組織体制を強化するよう申入れ、安全面、環境面の整備を図り、地元住民に支持される事業として発展させる必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: いずれのイベントも区内だけではなく、東京都を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与している。特に七夕祭りについては商店街も活性化している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区内の商店街が行うイベントであり、区が商業振興の観点から一定の補助をすべきである。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 主催団体を始め、警察、消防など、イベントに関わる他団体との部分的な協働は実現している。今後は特に保安、警備、環境面に関して総合的に連携していけるよう、主催団体の自主的な活動をより一層促す必要がある。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 後援(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	改革案の概要へ	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: いずれも観光への補助事業であるので、受益者負担の概念になじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 観光事業助成としては現状が適切だが、安全で環境に配慮したイベントを実現するためには、さらに費用面での検討が必要である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各所管と情報を共有する場をもうけ、区として統一的な対応ができるよう環境を整備する。また、主催者、関係機関と協議し、保安、環境面の整備を図る。						
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱である。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、区と主催団体の役割分担を明確にするとともに、適切な助言、指導を行う。						
	(1) 17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区内商業振興の観点からの補助としては現状が適当である。ただし、今後祭りを観光資源としてPRしていくためには今まで以上の安全の確保、地域住民の生活への配慮など、主催団体を始めとするイベント実施体制の整備を行う必要がある。そのため、イベントの安全実施などについての経費補助を検討する。						